



だより



R8.9.16 Vol.19

教育実習生

9月から本校に教育実習生が来て、子供たちと活動を共にしています。知り合いのお子さんでもあり、10年程前、一緒に市民ミュージカルの舞台に立ったこともありで…。子供の頃の印象に比べるとずいぶん大人になったなあとびっくりしています。(笑)

そしてその姿を見ていて、改めて感じるがあります。それは「**子供は成長する存在である**」ということです。私たち教員はつい子供の今の姿だけを見てしまいがちです。それはそれで大切なことなのですが、その背景に何があるのかに思いを巡らせ、そして未来にも思いを馳せる。そんな視点も大切なのだと実習生が子供たちと生き生きと活動している姿を見ながら感じています。

しかしまあ実習生の先生と過ごす子供たちのうれしそうな顔！若さって最強の武器ですね。(笑)

オヤジですが何か…③

デジタルの波に乗って生活は格段に便利になっています。スマホ一つで連絡も買い物も道案内も、なんなら通訳まで…。とっても優秀な執事が常に共にいる気分ですよね。

ただ、指先は常に動いているけど、心は動いているのだろうか？と、ふと思うことがあります。通知があれば画面を開き SNS の「いいね」に一喜一憂。スマホを忘れて外出すると何か落ち着かない自分。便利さの裏でいつの間にか依存症になっているのかも…そんな考えが頭を過ぎります。

もしかしたらデジタルの便利さと人間らしさはトレードオフになっているのかもしれませんが。

それが「令和だよ。」と言われるのなら、自分は昭和のオヤジでいい。そんなことを思いながら、結局スマホを傍らに置いていってどっちつかずの毎日です。



四方山話松蔭 ver. 其の十九(将来の夢！YouTuber)

将来の夢と言えば、最近では安定志向が強まり、公務員もかなり上位らしいですね。現実をしっかりと分析する子供たちが増えているのかもしれませんが。それでも相変わらず将来の夢で上位に食い込む『YouTuber』子供たちはどんなイメージを抱いているのでしょうか？ほんの一握りのトップ YouTuberたちの配信を見て、「これなら自分でもやれそう！これで稼げるなら！」そう安易に考えてはいないでしょうか？断言します。『甘い！』とりあえず何でもやってみたくなる私の性分。スマホアプリで何度か、簡単な動画編集をしたことがあります。切り貼りはすぐできますが、どこにどのシーンをいれるか？どんな効果音？BGMは？語りは？ちょっと凝ってみようかとそんなことを考えていたら、10分程度の動画を作るのにあっという間に何時間も過ぎていきます。「やってみた！」程度であればそれはそれで面白い経験になるのですが、それに収入を求めてしまうと、おそらく毎日が撮影と編集の連続でしょう。そしてそれは見てもらわなければ一円にもなりません。見てもらうためにはオリジナリティ(独創性)が不可欠です。煽り系や炎上系なら再生回数を稼ぐことはできるかもしれませんが、誰かを不快にさせる動画作成を仕事にすること、私は少し寂しい気がします。(そこはそれぞれの価値観です…。)

反対に「この人すごい！」と思う YouTuberの方には人とは違う視点や才能を感じますし、何よりその人の持つ才能や努力が見えてきます。そして物事の捉え方やその切り口、そして視聴者に伝える表現技術。どれも本当にすごい。そうした姿を見ると「楽に稼げる」というイメージは幻想に過ぎないと感じます。

動画配信ありきではなく、自分の積み重ねてきたもの、培ってきたものを生かす場、手段として動画配信を使う。それにチャレンジしてみる。そんな捉え方がいいのかなと思います。もし本当に楽して稼げるのなら、スマホがこれだけ普及している今、誰もがトップ YouTuber、インフルエンサーになっているはずですよ。

----- 切り取り線 -----

便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。今後の学校経営・運営に役立てていきたいと思ひます。